

魅力ある学校づくり協議会(板橋第九小・ 中根橋小・板橋第一小) ニュース

第5号

発行日：平成27年7月14日
開催日：平成27年6月30日
発行：板橋区教育委員会事務局
新しい学校づくり課
学校配置調整担当課長
電話 3579-2090

第5回協議会内容

平成27年6月30日に板橋第一小いちょうホールにて第5回協議会を開催しました。本号では、協議会で使用した資料の一部と質疑応答(意見)の主な内容について紹介いたします。

- (1) 事務局からの報告事項について
- (2) 協議会での意見交換について(まとめ)
- (3) 教育委員会への協議経過の報告について
- (4) 今後のスケジュール、これまで作成した資料について
- (5) 協議会の実施会場、今後の予定及び次回の協議会の日程について

1.事務局からの報告事項について

一部の協議会委員宛に、本協議会とは別に、地域の有志の方が学校の存続を求める会を発足する旨の案内状が届いたので、事務局で把握している状況について説明をしました。なお、教育委員会事務局では、協議会委員の住所等の個人情報を外部に提供するようなことは一切ありません。今後も、個人情報については、慎重かつ適切に管理していきます。

2.教育委員会への報告について

6月10日に開催された板橋区教育委員会に、これまでの協議経過と第4回協議会で行われた意見交換の内容について報告を行いました。今後も、定期的に協議経過の報告を板橋区教育委員会へ行っていきます。教育委員会の会議記録は区ホームページからもご覧いただけます。(公開されるまでに一定期間を要しますので予めご了承ください。)

アドレス http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_categories/index11005001.html

3.今後のスケジュールについて

(1) 協議会スケジュール(予定)

《協議会設置期間・開催頻度》

平成28年3月まで、月1回程度

※月1回開催した場合、9回(合計14回)開催することとなります。

※最終的には意見集約した内容を、意見書として教育委員会へ提出する予定です。

(2) 入学予定校変更希望制スケジュール(予定)

新入学案内冊子の配付	平成27年8月下旬
入学予定校変更希望の申請受付締切	平成27年9月下旬
抽選の実施	平成27年10月下旬
就学児健康診断	平成27年11月中旬～12月上旬
就学通知書の発送	平成28年1月上旬
抽選の補欠登録期間終了	平成28年1月下旬

4.これまで作成した資料について

(1) 児童数・学級数の推移（各年度5月1日現在）

		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
板 九 小	1年生児童数	24	24	32	26	10	13	12	15	6	30	9
	1年生学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	総児童数	192	191	184	181	154	133	114	111	85	87	85
	総学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
中 根 橋 小	1年生児童数	67	72	63	74	70	66	54	67	59	65	56
	1年生学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	総児童数	381	381	388	400	401	395	391	391	384	379	367
	総学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
板 一 小	1年生児童数	55	46	56	51	65	57	71	65	65	65	94
	1年生学級数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3
	総児童数	260	275	290	290	305	322	333	354	364	370	405
	総学級数	10	11	11	11	11	12	12	12	12	12	13

(2) 通学区域別学齢人口（平成27年2月1日現在の住民基本台帳による）

3校ともに概ね同じぐらいの子ども達が住んでいることがわかります。しかし、適正規模校の平均である73人（平成25年度）と比較すると3校とも少ないことがわかります。

入学年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
板橋第九小	55	34	37	62	49	53	55
中根橋小	51	35	58	52	61	49	67
板橋第一小	66	63	55	75	70	66	87

※通学区域内の未就学児の人数を入学年度別にまとめたものです。

(3) 平成32年度までの児童・学級数の将来予測

今後6年間の児童数の推移を予測するために過去の入学率をもとに算出しました。

学校名	内容	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
板橋第九小	児童数（学級数）	86(6)	85(6)	98(6)	100(6)	114(6)	103(6)
中根橋小	児童数（学級数）	359(13)	375(14)	396(15)	419(14)	428(14)	457(15)
板橋第一小	児童数（学級数）	403(14)	423(15)	457(15)	491(16)	521(16)	569(18)

※入学率は、過去5年間の平均、抽選は考慮していない。

(4) 平成52年度までの児童・学級数の将来予測

長期的な児童数の推移を予測するために国立社会保障・人口問題研究所の推計をもとに算出しました。（長期予測のため、入学率は100%で算出）将来的には、3校共に単学級の学年が発生し、適正規模校が維持できなくなる予測となりました。

学校名		25年度	42年度	52年度
板橋第九小	児童数（学級数）	85(6)	236(8)	211(8)
中根橋小	児童数（学級数）	384(12)	231(10)	207(8)
板橋第一小	児童数（学級数）	364(12)	300(11)	267(10)

(5) 各校の通学区域内の最も遠いと思われる地点から各学校までの距離

通学距離については、一部を除いて、大部分が板橋区の通学距離の目安としている1,000m以内に収まることわかりました。

地 点	板橋第九小	中根橋小	板橋第一小
中板橋 30 番 (中根橋小通学区域)	1,044m	732m	1,356m
大和町 6 番 (板九小通学区域)	432m	528m	516m
仲町 27 番 (板九小通学区域)	756m	588m	1,008m
大山東町 55 番 (板一小通学区域)	624m	804m	612m

※各地点からの学校までの距離は地図から直線距離で算出しました。

(6) 大山小学校の児童数・学級数の推移 (平成 25 年度末閉校)

児童が急激に減少したことがわかりました。平成 25 年度は、2 年生・3 年生、4 年生・5 年生が異なる学年と一緒に授業を行う複式学級となりました。

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
1 年生児童数	30	25	25	15	16	11	5	1	1
1 年生学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総児童数	242	223	195	166	132	119	89	62	23
総学級数	9	9	8	7	6	6	6	6	4

※特別支援学級を除く

5. 質疑応答及び意見

委員：案内状の件ですが、感想としては、この協議会の内容をよく理解していない有志の方が、会を設けるような気がしてとても残念でした。一保護者としては、小学校の保護者の方や未就学児の保護者の方が、不安を煽られてしまうのではないかと思います。今後、意見を多く出して、早いうちに方向性をまとめていければと思います。

委員：個人的には、もう少し、協議を重ねていければと思います。学校が統廃合となって無くなってしまうと困ることもあります。学校は、もちろん教育活動の場だとは思いますが、避難所としての利用等、様々な形で利用する機会があります。

事務局：前回の意見交換でも A 案 B 案といった事務局案を作成してみてもいいという意見もありました。新一年生の入学予定校変更希望制についても受付が始まりますので、そちらのスケジュールも念頭に置きながら協議を進めていきたいと思っています。また、こちらの地域に限らず学校の統廃合が進み空いた校地については、地域の皆様の意向を反映させていくように協議会として発信していきたいと思っています。

委員：前回の意見交換の中で、板橋第一小の意見に一番感動しました。素晴らしい環境の学校なので、自分達だけではなく是非皆さんに利用してほしい、仲良くしていきたい、快く受け入れたいといった姿勢は素晴らしいと思います。今後、意見をまとめていく中で、それぞれ立場が違えば意見も異なりますので、全員に良い顔していたら意見がまとまらないと思います。教育委員会が皆さんの意見をしっかりと踏まえて、まとめて行く必要があると思います。

事務局：協議会の中でも色々な意見がありますので、全会が一致することは難しいと思います。中学校の協議会では、皆さんの意見を反映させた A 案 B 案といった事務局案を作成して、その中で皆さんが譲り合って意見集約を行いました。この協議会においても同様に事務局案を作成するなどして、建設的な意見を出し合っていければと思います。

会長：今後の進め方について、皆さんと考えていきたいと思っています。皆さんから頂いた意見一つ一つをまとめていく方法や、教育委員会事務局が意見を集約したものを事務局案としてまとめ、それをたたき台として議論を集約していく方法とどちらが良いのか皆さんに考えていただきたいと思っています。

委員：私としては、只今の会長の意見に単純に大賛成です。3校共に近い関係にはありませんが、それぞれ事情もあり、意見集約は難しい面もあります。まず、事務局案を作り、自由な意見を出し合っていくことが大切だと思います。

委員：事務局が方向性を出して、その中で協議した方が精神的にも楽だと思います。

委員：この協議会のスタート時点で、単に板橋第九小を統廃合するといった議論ではなく、板橋区の教育の在り方について協議していきたいとお話しさせていただきました。ただ、地域には、板橋第九小が統廃合するといった噂が駆け巡っていますので、この協議会が進んでいる以上、板橋第九小を守ろうという主旨の会が設置されても止むを得ないと思います。板橋区の教育の在り方や教育環境について協議していった方が良いのではないのでしょうか。この協議会の中で、これからの板橋区の子も達がどのような環境で教育を受けていくことが望ましいのか議論していくべきではないのでしょうか。

委員：他の委員の意見にもありましたが、保護者の意見を聞いてみてはどうでしょうか。アンケート調査をして保護者の意見を取り入れてみてはどうでしょうか。一般の保護者の意見も参考にしながら協議をしていければと思います。

委員：教育委員会事務局次長です。保護者の方の意見を参考にとの話がありましたので、今後、踏まえていかなければと思っています。ただ、アンケートについてですが、どの方も学校には愛着がありますので、仮に統廃合賛成か反対かと聞かれれば、反対と答える方が多い結果となります。また、大山小のように複式学級が出現する事は絶対に避けていきたいと考えており、今後のことを考えていくときに複式学級については一つの基準になると思います。現在の学校教育は、昔からの先生が黒板に板書してノートに書き写して基礎学力を高めていくことに加えて、お互いの意見を交わしてグループとしてまとめ、それをクラスで発表して、今度はグループごとの意見をクラスの意見としてまとめていく、そういった能力が求められております。このような教育環境を整えていくためには、一定規模の人数が必要となり、一クラス20人ぐらいは必要だと考え、その結果として学校全体で120人を下回ったら協議会を設置する基準としております。今後のことですが、子どもの目線を第一に考えて、協議していくための、たたき台となる案を作っていくべきだと思います。今後のスケジュールですが、来年度の新一年生の入学予定校変更希望制の受付や先ほど説明した教育課程の編成もありますので、それらの日程も考慮しながら進めていきたいと考えております。

会長：只今、事務局の次長から事務局案を作成して、それをたたき台として協議していきたいと意見がありましたが、皆様いかがでしょうか。

各委員：異議なし

会長：次回協議会では、事務局案に基づき協議をしていきます。事務局案をたたき台として皆さんで意見や知恵を出し合って、さらに良いものを作っていきたいと思います。

次回予定

- ・平成27年7月27日（月）午後6時00分から午後7時30分まで
- ・場所：仲宿地域センター ※月に1回程度開催する予定です。
- ・議題：事務局案について、校地や校舎面積の基準、望ましい学校規模等

発行元 板橋区教育委員会事務局 新しい学校づくり課 学校配置調整第二グループ

電話 3579-2090 FAX 3579-4214

※協議会の会則・協議会ニュース、次回の日程等は、区ホームページからご覧いただけます。

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/067/067580.html